

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 7年3月27日

事業所名 すこやか教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	5		①広さは十分に確保できています②プレイルーム・個別訓練室・感覚統合スペースは適切に使用しています	
	2	職員の配置数は適切である	5			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	5		①活動スペース（あそび・運動・勉強）を明確に分けています②設備は整っておりバリアフリーです③室内は構造化しており文字やイラスト写真等を用いています	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	5		①活動に合わせ、パーテーションを使用しています②日々の掃除に加え業者によるトイレ掃除、ワックスがけ、エアコンフィルター掃除が定期的に入ります	
業務 改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	5		①朝礼、終礼で必ず日々の振り返りを行っているので業務改善につながっています	
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5		①保護者様の評価を踏まえ情報共有し問題点について話し合いをして改善すべき点は行っています	
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5		①ホームページで公開予定です	①全職員で会議をし質の向上に努め出来る事は改善していきます
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		5		①外部評価は必要だと考えているが至っていない現状です
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5		①訓練の先生方から問題点や修正点を専門的な見解を聞いています ②県の出前講座を受講しています	①オンライン研修を積極的に受けていきたいと思っています
適切 な 支 援 の	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	5		①保護者様のニーズを踏まえ全職員で個別支援計画の策定会議を行っています	
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	1		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	5			
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	5			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	5		①担当者による立案を職員全員の支援会議し検討しています	
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	5		①新しい教材を取り入れプログラムが固定化しないように工夫しています	

提供	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	5		①年齢、状況に応じ特性を踏まえ作成しています	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	5		①毎日、朝礼で話し合っています	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	5		①毎日、終礼にて振り返りを行っています	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	5			
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	5			
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5		①児童管が出席しています	
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5		①要請があれば3歳児精密検査へ同席しています ②児発管が支援会議等に参加し職員に報告しています	
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	5	1	①現在在籍がありません	
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	4	1		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		①園の訪問や、電話での情報の共有をしています ②児発管が参加し職員に報告検討しています	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	5		①希望があれば児発管が参加しています	
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2	①県の研修案内を把握し、参加を検討しています	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	5		①感染症拡大の心配がある為、行っていません	①隣接している子育て支援センターとの交流を検討しています
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	5		①児発管が参加し内容の報告をしています	①交代で職員参加をしています
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	5		①母子通園の為、様子などは実際見られる状況です	
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	4	1	①県のペアレントトレーニングを勧めたり(ポスター提示)、家庭で出来る事を促し、出来る範囲でカード使用を提案しています		

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5		①契約時に児発管が行っています	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	1		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	5		①自分でわからない事は、児発管始め、他の先生に相談しながら行っています（自分で対応した場合は報告をしています）	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5			
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	5		①児発管に伝え、指示を仰いでいます	
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	5		①毎月のおたよりの発行、変更の場合は掲示板で知らせています	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	5			
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	5		①なかなかうまくいかないこともあり、他の先生に相談しながら進めています	①スケジュールに沿った視覚支援や指さし、はい・いいえの選択など工夫しています②必要に応じ個室を使用し相談を受けています
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に関わった事業運営を図っている		5	①感染症拡大の心配がある為、現在行っていません	
	非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	5		①施設全体の訓練に参加しています
42		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	5		①防災訓練週間に合わせ、定期的に親子で複数の避難経路で実施しています。またAEDの場所確認を行っています	①親子で防災頭巾を実際に体験してもらい慣れるようにしています
43		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	5		①フェイスシートで内服薬の有無を記入してもらっています	
44		食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	5		①母子通園なので昼食は保護者様の判断に任せています ②聞き取りで確認し、行事等では事前に再度確認を取っています	
45		ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	5		①終礼や、実際発生時にヒヤリハット事例を共有し対応策等を考えます	①ヒヤリハット事例集の見直しをしています
46		虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	5		①虐待防止委員会の設置をしています ②年に1回出前講座の講義を受けています	①利用者様への言葉遣いや身体的なかわりを丁寧に行うことを日頃から意識しています
47		どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5		①契約時に説明に説明し行った場合は個別支援計画書に記載します	